



講演要旨



京都大学名誉教授
田中喜代次先生

生き生き上手で**健康華齡**

今回の公衆衛生大会では、健康をテーマに2つの講演を行いました。

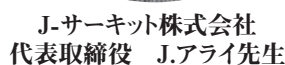
1つ目は「健康華齡」をテーマに、筑波大学名誉教授の田中喜代次先生に、そして2つ目は当会のキャラバンフィットネスを指導いただいているJ・サーキット株式会社のJ・アライ先生に実技を交えてご講演いただきましたので、その要旨をお伝えします。

脈があつて、血圧が高
くても、体が動くとい
う幸せを感じ取ってく
ださい。

高齢者の方は、痩せることに固執する必要はありません。多少太っているのは、海外の研究でも問題ないといわれています。

老化は避けられない
 ものですが、老化には
 大きな個人差がありま
 す。努力は必要ですが、
 ある程度老化を受け入
 れて、病気との共生が
 人生を豊かにします。

以上のような運動、栄養に加えて、本日の大会に参加するような社会参加による交流が、健康華齢の実現に向けて、重要な要素となります。



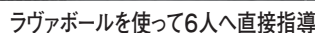
元気でやるにや、
どろすりやえんかいの!?

膝が痛くても、不整

ラヴァボールを使って舞台上の6人の参加者に実演してもらいました。(1面と右下に写真掲載) 体の柔らかさ、姿勢の改善などのストレッチを行い、舞台上だけでなく会場の参加者も全員一緒になって、

取り組んでもらいました。

J.アライ先生 「元氣であるにや」の言葉には3種類の運動が重要です。1つ目は有酸素運動をして持久力を高めること、2つ目が、筋肉や骨を良質に保つための筋力、そして3つ目が柔軟性です。ただしそれぞれの運動をするには時間から過ぎます。これを30分程度の運動で解決してくれるのが、キャランフィッ



トネスです。ぜひ周りの人に健康を与えるきっかけとして、皆さんの住んでいる地域でやってみてください。

「ああ、これからやで
ヒロシマ」の熱い言葉
を胸に広島県民の健康
のために取り組んでい
きましょ。

(文責 地域活動支援センター)

私たち公衆衛生推進委員は、積み重ねられた歴史の中で、行政や他団体と協働しつつ、自主的・組織的なコミュニティ活動をとおして、公衆衛生思想の普及向上に努めてきました。しかし、地球温暖化やごみ問題、生活習慣病の増加など、深刻かつ緊急を要する課題は山積しています。

今年は、7月豪雨災害により広島県内の多くの場所で甚大な被害が発生しました。今後、どこかで起こりうる災害に対し、私たち住民組織が災害支援などの場において何を果たすべきが改めて問われています。この役割を明確にし、公衆衛生の向上への取組がこれからの重要な活動テーマとなります。

私たちは地域の課題に積極的に対処しながら、人々がより快適で健やかに暮らせる活力あるコミュニティの実現をめざし、これまでも増して地域のリーダーとして機能を発揮する必要があります。

そこで、『健やかな暮らしをつくる人々の集い』をテーマに開催するこの大会を契機に、次の7つの項目について、より積極的・効果的に取り組む決意を示し、地域リーダーや関係者一同の情熱と知恵と行動力を結集し、その実現に向けて邁進することを宣言します。

- 一.防災・減災・復興に活かす公衆衛生活動の推進
- 一.生活空間の美観の確保と快適な環境づくりの推進
- 一.住民・行政・事業者の連携による脱温暖化のまちづくりの推進
- 一.生活習慣の見なおしと実践活動による健康づくりの推進
- 一.ごみ減量に向けた3R(リデュース^{スリール}・リユース・リサイクル)の推進
- 一.世代を越えた健康学習・環境学習の推進
- 一.上記の6つの項目を実現するためのコミュニティ組織の強化

平成30年11月16日

第59回広島県公衆衛生大会

選考委員からの願いを講評へ

広島県公衆衛生大会

ていました。

の席上で、「平成30
度環境と健康のポスタ
ー・標語コンクール」
の表彰式と入選作品の

◆ 日本経済新聞の調査

当日は最優秀賞と県

大会開催地の東広島市、その近隣市町から15人の児童・生徒の皆さんが表彰式に出席し、壇上で緊張しながらもしっかりと賞状とトロフィーを受け取り、記念撮影では保護者や公衛協の皆さんがカメラを向けるたくさんの力メライヤスマホに笑顔を向け

本事業も今年度で1年目を迎えました。昨年度より新たに健康分野が加わり、環境分野と合わせ、今年度の応募点数は過去最高の点数となりました。ことは7月の豪雨災害の影響で、事業の運営にも支障をきたすことが多かったことと思いま



A black and white photograph of three young children sitting on a stage. The child on the left is a boy wearing a dark sweater over a collared shirt. The child in the middle is a girl wearing a dark dress with a light-colored pattern. The child on the right is a girl wearing a light-colored dress with a dark pattern. They are all looking towards the camera. The background is dark, and the floor is light-colored.

すが、関係された皆さまのご尽力により、このような充実した選挙を行うことができましたことに深く感謝申し上げます。

また今年度より環境

分野、健康分野ともに新たに各1名の方々に選考委員として加わっていただき、各分野5名の選考委員で厳正に選考を行いました。さまざまな分野でご活躍されている方々により、これまで以上に多角的な視点での選考が行えたと思っています。

作品については、特に地域や家庭の中で自身の体験から生まれたものに毎年新たな視点を感ずることが多いと言えます。暑い夏休みの中に、一生懸命作品に取り組んだ児童、生徒の皆さんの思いを、社会において、より一層有意義なものにしたい。たくさんことを願っております。



当協会は、「広島
の身近な生きもの」の意
外な生態」(表紙左
絵)を11月22日に発売し
ました。
手にとって気軽に読
める書籍で、ちよとし
た会話の中で役立つ情
報が満載です。
税抜き900円です。
購入を希望される場合
は、当協会までご連絡
ください。
(082・293・1
511 当協会 事業
連携室)

生きものの本が完成

表彰者一覧

県大会で表彰された団体、
個人は次のとおり。おめで
とうございます。(敬称略)



栄えある受賞者を代表して授与

広島県知事表彰

【公衆衛生地区組織活 動功労】

団体の部：栗原地区公
衆衛生推進協議会(尾
道市)
個人の部：上土井 柁
笠井 二郎、森本 武治、
永尾 忠徳、長見 雅美(以
上、広島市)、宮宗 弘光、
村田 政雄(以上、福山
道市)

【健康増進栄養関係功 労】

団体の部：西部厚生環
境事務所・西部保健所
管内地域活動栄養士会
(西部保健所)
個人の部：日下 恵子(尾
道市)

【母子保健活動功労】

個人の部：岡島 進(広
島市)、白井 泉(広島
県助産師会)

【歯科保健活動功労】

個人の部：荒川 信介、
澤村 豊(以上、広島市)

【保健衛生生活活動優良地 区】

大崎上島町公衆衛生推
進協議会(大崎上島
町)、向島地区公衆衛
生推進協議会(尾道市)

広島県環境保健協会表彰

【地区衛生組織活動功 労者】

新枝 智司(府中町)、
大谷 静子(海田町)、
鈴木 延子(熊野町)、
上野 史朗(坂町)、中
野 文彦(江田島市)、
土田 勇(竹原市)、梶
原 泰文、河野 稔、山根
明(以上、廿日市市)、
高嶋 郁夫(廿日市市大
野)、川口 昭和、横山
賢治(以上、東広島市)、
多留 良春(世羅町)、
眞神 田嘉英、濱本 登貴
男、水越 弘(以上、尾
道市)、高橋 實、小林
哲仁、中野 茂美、魚谷
泰三、立神 誠三、神原
賢之助(以上、福山市)、
荒木 薫、下恒 太郎、戸
田 清登、立田 大造(以
上、府中市)、大戸 正昭、
徳田 雅夫、小林 寛治(以
上、三次市)、阪井 昌行、
前山 薫、坪井 秀則、尾
茂田 孝信(以上、呉市)

【地区衛生組織活動優 良団体】

小国地区公衆衛生推進
協議会(世羅町)、市
地区公衆衛生推進協議
会(尾道市)、因島地
域公衆衛生組合連合会
(尾道市)、宮原 5 丁目
自治会(呉市)



42 役割と活動の共有

秋の事業が続々開催

環境づくり・健康づくりをPR

この秋、県内各地で環境や健康に関するイベントや組織づくりに関する事業が多数開催され、公衛協や地域協議会、当協会が、地域の環境保全、脱温暖化、健康づくりを発信しました。

うちエコ診断や環境と健康のポスター標語コンクールの作品紹介、がん検診へ行こうキャンペーン、ウォーキング事業など様々な事業が実施されましたので、その中から、一部をご紹介します。

うちエコ診断で家庭の省エネを

うちエコ診断は、8
会場、およそ200
世帯が受診しました。
環境省認定の公的資格
を持つうちエコ診断士
が、専用のソフトを用

いて各家庭の暮らし方
に合わせた省エネ・省
CO₂対策を提案する取
り組みです。
寒くなる季節に向け
て、暖房器具の賢い選

び方や、節水シャワー
ヘッドを利用した給湯
の節約方法など、気軽
に取り組める省エネ術
を紹介し、我慢せずに
生活の質を高めるアイ

デアの数々に、受診者
は興味深く耳を傾けて
いました。
広島県は、家庭部門
の温室効果ガス削減へ
向けて、高い意識で行
動するためのきっかけ
づくりとして、うちエ
コ診断の受診を勧めて
います。

今後も、イベント会
場や公共施設で、うち
エコ診断を実施する予
定です。広島県在住者
であればどなたでも受
診できます。受診して
みてください。



パソコン画面の診断結果を説明
する診断士



基礎研修の前に挨拶する小田会長(上)、
不法投棄のバトロール禁止を呼びかける看
板の上には監視カメラが設置(左)

基礎研修と地域資源を考える

安芸太田町公衛協
は、11月21日に推進委
員研修会を開催しまし
た。前半に基礎研修を
行ない、公衛協の活動

歴史、ミッションを振り
返りました。
続いて、「豊かな森林
で育つ地球に優しい自
然の暮らし」をテーマ
とした研修を行いました。

の取り組みをうかがい、
木質チップ加工場やバ
イオマスボイラーを導
入した施設の見学を行
ないました。

安芸太田町では、林
地残材の搬出とチップへ

【安芸太田町公衛協】

ポスター賞を受賞

第12回世界閉鎖性海域環境保全会議



タイ王国パタヤで11
月4日から8日にか
け
た。
会議が開催されまし

て開催され
た第12回世
界閉鎖性海
域環境保全
と題してポ
スター発表
を行い、ポ
スター賞を
受賞しました。

受賞しました。主催者
を代表して化学・政策
委員のオリ・ヴァリス
氏(アールト大学大学
教授)から賞状がわた
されました。

引き続き、地域の課
題解決に向けた協議と
実践の継続で、町の環
境と町民の健康を維持
する取り組みに期待し
ます。
(地域支援課)



里海づくりプロジェクトについて発表する平岡参事

瀬戸内海環境保全地区組織会議は、「平成30年度瀬戸内海の環境保全に関する衛生団体合同研修会」を11月29日・30日の2日間、広島県を会場に開催しました。

この研修会は、瀬戸内海の沿岸の府県市で活動する住民団体のリーダーが一堂に会し、瀬戸内海の環境について考え、学び、住民ができる環境保全対策を推進していくことをねらいに毎年開催し、今年度は約80人が参加しました。

29日は、広島市南区のホアルセンチュリー21広島県広島県環境県民局環境部長梅村幸平様を来賓に迎え、活動功労者(団体)表彰、講演、体験交流・意見交流を行い、活動功労者(団体)表彰は、岡山県、

広島県、北九州市から3団体が表彰され、広島県からはEM園を使つて水質浄化に取り組む尾道市因島の中庄町衛生組合が表彰されました。

講演は、当会の平岡参事(環境生活センター)が「環境協創立60周年記念社会貢献事業里海づくりプロジェクトについて」と題し、里海とはなにか、里海を実現するために必要なこと、実際に行つた

事業の内容について紹介しました。体験交流・意見交流は、表彰を受けた3団体が実践してきた内容を報告しました。広島県は、「水質浄化のとりくみ 18年のあゆみ(中庄町衛生組合、星野哲司さん)」、岡山県は、「沙美大好き! (倉

30日は、東広島市のエネルギー総合研究所で太陽光発電設備や高電圧実験棟などの施設を見学、株式会社サタケでは穀物を中心とし

た食品の加工機械食を通じた健康づくりなどの話を聞きながら、施設の見学を行いました。来年度は、山口県での開催を予定しています。

住民による環境保全対策の推進へ 瀬戸内海の環衛生団体による合同研修会が開催



水質浄化のとりくみを発表する尾道市中庄町衛生組合星野さん

県は、食品衛生基準を満たした製造・加工施設について、独自に認証する制度を実施しています。適合した施設は、商品に『認証マーク』を貼ることができます。当協会は認証機関として、食品衛生管理の認証・更新審査や指導などを行っており、このシリーズでは、当協会が認証した事業者の声を紹介し、食品衛生管理の重要性を伝えていきます。



⑩ 川崎水産
株式会社ケンスイ



認証日:平成30年8月2日
所在地:廿日市市地御前5-3-17
創業:川崎水産 昭和39年9月
株式会社ケンスイ 平成29年3月
話し手:川崎水産代表
株式会社代表取締役社長
川崎 健 様

お届けしています。認証取得のきっかけと取り組み
「おいしくて安全なカキを世界中のお客さまに楽しんでもらいたい」と、新しい冷凍技

術を導入しました。冷凍する前の素材が汚染されていた安全な商品をお届けできません。水揚げから、加工に至るまでしっかり管理していることを証明

するため、この認証を選択しました。自ら設定した衛生管理のポイント
徹底した温度管理と時間管理はもちろん、従業員の健康管理を含

の品質維持に努めています。消費者の皆さまへ
自信を持って生産・加工したカキを、自慢の冷凍技術で冷凍して、安心・安全なカキをお届けいたします。

冷凍により、劣化や菌の増殖を防ぎ品質を保つことができます。必要に応じて必要な分だけ解凍して食べられるので、食中毒のリスクを減らせます。

いつでも「生より安心でうまい!」これからの新しい水産物のあり方を提案します。
インタビュー:中川 記者:馬場田

コールドチェーンを実施

新しい水産物のあり方を提案

■業務内容
川崎水産は、カキの養殖から水揚げ、むき身の加工を、株式会社ケンスイは、川崎水産のむき身カキを冷凍加工して販売しています。

「生より安心でうまい」を掲げ、養殖から加工まで一貫して行うことで、安心・安全なカキを百貨店や加工場、消費者の皆さまへ

術を導入しました。冷凍する前の素材が汚染されていた安全な商品をお届けできません。水揚げから、加工に至るまでしっかり管理していることを証明

するため、この認証を選択しました。自ら設定した衛生管理のポイント
徹底した温度管理と時間管理はもちろん、従業員の健康管理を含

の品質維持に努めています。消費者の皆さまへ
自信を持って生産・加工したカキを、自慢の冷凍技術で冷凍して、安心・安全なカキをお届けいたします。

冷凍により、劣化や菌の増殖を防ぎ品質を保つことができます。必要に応じて必要な分だけ解凍して食べられるので、食中毒のリスクを減らせます。

いつでも「生より安心でうまい!」これからの新しい水産物のあり方を提案します。
インタビュー:中川 記者:馬場田

「専門研修」は、公衆衛生推進委員や地球温暖化防止活動推進員の力量形成および専門的な知識・技術の習得の場として、市町・支部公衛協の役員や、事務担当者、活動リーダーを参加対象に、環

新しい水産物のあり方を提案

■業務内容
川崎水産は、カキの養殖から水揚げ、むき身の加工を、株式会社ケンスイは、川崎水産のむき身カキを冷凍加工して販売しています。

「生より安心でうまい」を掲げ、養殖から加工まで一貫して行うことで、安心・安全なカキを百貨店や加工場、消費者の皆さまへ

術を導入しました。冷凍する前の素材が汚染されていた安全な商品をお届けできません。水揚げから、加工に至るまでしっかり管理していることを証明

ため、この認証を選択しました。自ら設定した衛生管理のポイント
徹底した温度管理と時間管理はもちろん、従業員の健康管理を含

の品質維持に努めています。消費者の皆さまへ
自信を持って生産・加工したカキを、自慢の冷凍技術で冷凍して、安心・安全なカキをお届けいたします。

冷凍により、劣化や菌の増殖を防ぎ品質を保つことができます。必要に応じて必要な分だけ解凍して食べられるので、食中毒のリスクを減らせます。

いつでも「生より安心でうまい!」これからの新しい水産物のあり方を提案します。
インタビュー:中川 記者:馬場田

「専門研修」は、公衆衛生推進委員や地球温暖化防止活動推進員の力量形成および専門的な知識・技術の習得の場として、市町・支部公衛協の役員や、事務担当者、活動リーダーを参加対象に、環

専門研修で人材養成・組織強化へ 知識・技術の習得に活用を

協が毎年テーマを変えて開催しております。12月は、「広報・ツールづくりコース」を開催しました。この研修は、活動をPRするツールづくりのノウハウを、体験を通して習得する研修です。5公衛協・3地域協議会合計11人が参加し、我が公衛協や地域協議会の広報力を振り返り、広報物を作成する実習と発表を通して、紙媒体で発行する広報の魅力アップ術を学びました。

参加者からは、「もっとと伝わりやすくするには?」「手にとりやすいためには?」「という視点で他のチラシや広報を見るようにする」などの感想を頂きました。1月17日(木)・18日(金)には、「企画づくりコース」を1泊2日で開催します。「こんな活動がしたい、こんなことをやってみ

今後の研修予定
・企画づくりコース (1/17~18)
グリーンピアせとうち (呉市)
・広報・ツールづくりコース
フェイスブック記者養成編 (2/10)
広島県公衆衛生会館 (広島市)



作成した広報物を発表し合う参加者 (上)、他団体が作成した広報物を見比べる参加者 (下)

第2回目は、広島地方気象台で長期間にわたって観測している気温のデータを紹介しながら、広島県の気候が

二酸化炭素を削減する行動が必要
100年あたり1.5度気温上昇



前号でお話しましたとおり、「今の若い者は……!、昔は夏もエアコンなしで過ごしたもんだ!」などの言葉を聞くことがあります、まさに昔の若者が体験した気温と、今の若者が体験している気温に違いがあること

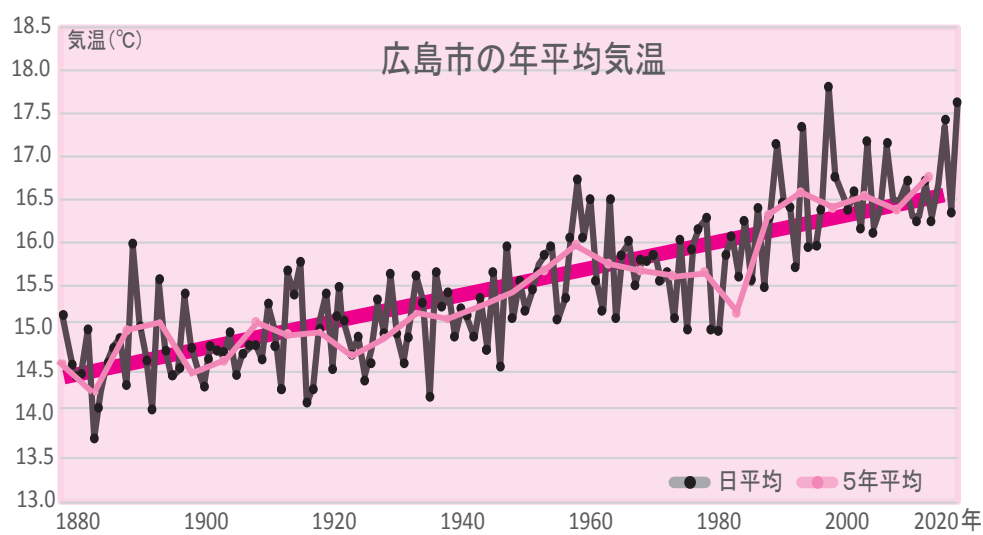
えられます。

気温の他、年間の真夏日日数（日最高気温30℃以上の日）には変化傾向はあまり見られませんが、年間の熱帯夜日数（日最低気温25℃以上の日）は増加傾向に、年間の冬日日数（日最低気温0℃未満の日）には減少傾向が見られます。

気温の変動には、地球温暖化の影響や、数年〜数十年程度の時間規模で繰り返される自然変動が重なっていますが、広島市の場合にはさらに都市化の影響も強く表れていると考えられます。

どのように変化しているのかお話しします。

図は、広島市の年平均気温の経年変化を示しています。広島市では100年あたり1・5℃の割合で上昇しています。100年間の変動を見ればわかるとおり、広島県も例外なく地球規模で起きている二酸化炭素などの温室効果ガス濃度の上昇を起因とする地球温暖化の影響を受けているのです。



はおわかりいただけると思います。

今後、二酸化炭素など温室効果ガスの排出削減対策がほとんど進まず、地球温暖化が最も進行すると想定した場合、21世紀末（2076～2095年）には広島県の年平均気温が約4℃上昇すると予測されており、現在の種子島（鹿児島県）よりも高くなります。これにより広島県でも、熱中症の増加、収穫できる農作物や魚介類などの変化が予想されており、緩和に向けた行動が必要となります。

（広島地方気象台

地球温暖化情報官 嶋岡正喜

話題の
健康づくり

ア カ ト
ラ ル

②③ 禁煙支援ネットワーク研修会

広島県禁煙支援ネットワークは、広島県内の住民などに対して禁煙活動を支援する目的で平成14年に設立されました。現在は、当協会が事務局を務めています。

10月13日(土)、広島市東区二葉の里にある広島県薬剤師会館において、広島県禁煙支援ネットワーク公開講座(第16回研修会)が開催され、禁煙支援活動に

関心のある個人や医師など、120名が参加しました。

この公開講座は、医療保険関係団体のたばこ対策への取り組みや禁煙支援活動に関する事例などを学び、地域で

たばこの

地域で

取り組むたばこ対策を考え、実践活動に活かしてもらうことを目的として、広島県禁煙支援ネットワークがひろしま健康づくり県民運動推進会議と共催して毎年開催しているもので

す。
今回は「たばこのない世界をめざして!!」をテーマとし、基調講演では、禁煙支援ネットワーク運営委員長である川根博司日本赤十字

研究室の大和浩教授が「たばこ対策最新情報」改正健康増進法、三次喫煙、加熱式たばこの構造と対策」と題して、企業における禁煙活動の取り組み状況や加熱式たばこの有害性など

ふちうと!!

実践活動へ

について発表されました。

また、禁煙支援ネットワーク関係団体である、(二社) 福山市医師会、(二社) 広島県歯科医師会、中国電力株式会社、中電病院、(公社) 広島

県薬剤師会及び広島県健康福祉局の5団体からは、禁煙等に関する最新の知見についての情報提供がなされ、参加



者はメモを取るなど、
熱心に聴講し盛況のう
ちに閉会しました。

（企画調整課
藤原慎吾）

広島県禁煙支援ネットワーク公開講座受講者

広島県禁煙支援ネットワーク公開講座受講者

平成30年度予防医学事業推進
中国・四国地区会議開催
最新知見を学び、意見交換



平成 30 年 11 月 8 日 (木)、広島市南区松原町のホテルグランヴィア広島において、平成 30 年度予防医学事業推進中国・四国地区会議が開催されました。

この会議は、(公財) 予防医学事業中央会（以下、中央会）の本部及び中国・四国地方各県支部が参加する会議で、予防医学に関する最新の知見を学ぶとともに、組織運営や検査技術などに関して意見交換を行い各支部の活動を活性化させることを目的として、中央会と担当支部の共催で毎年開催するものです。今年度は、当協会が担当支部を務めました。

今回の会議では、中央会の山根則幸専務理事から、本部報告として「健康診査事業の最近の話題」と題した情報提供がなされ、続いて「運営会議」、「業務会議」及び「技術会議」の3つの分科会に分かれ、各支部から提案された52議題に関して意見交換がなされ

ました。

山根専務理事からの情報提供では、最新の知見として「第3期特定保健指導の運用見直し」、「第3期がん対策基本計画」、「第25回がん検診のあり方検討会での検討内容」などの国が進める健康施策についての解説や、中央会の最近の活動内容などについての説明がなされました。

また、分科会において「有期労働契約の無期労働契約への転換」などの労働者雇用に係る課題や、「特別警報等、災害発生時の開催中止の判断」といった自然災害への対応、「腹部大動脈の検査」といった技術面の課題など、多岐にわたって活発な議論が交わされた後、会議は閉会しました。

来年度は、島根県支部である（公財）島根県環境保健公社が担当して、島根県松江市で開催の予定です。

(健康科学センター 巡回健診課)



業務に関する分科会

知識・技術研修を積極的に開催

水道事業の人材育成・技術継承に貢献

当協会は、水道事業の環として外部の関係者を対象に「保健所・市町水道担当者研究協議会」、「広島水道塾」、「水みらいアカデミー」を開催しています。

保健所・市町水道担当者研究協議会は、昭和63年から開始した当協会の歴史ある研修です。当協会が主催し、県内の水道事業者、衛生行政が参加して、関係者が連携を深める機会となっています。研修では、有識者や水道事業者から情報提供をしていただき、最新の知見を共有しています。今年度は11月22日に開催し、アクアスフィ



担当者研究協議会での橋本氏による講演



広島水道塾の実習風景

ア・水教育研究所の橋本氏から「日本と世界の水問題」という講演をしていただき、広島市水道局から水道苦情等の事例について紹介をしていただきました。広島水道塾も当協会が主催しています。平成27年から開始し、今年度で4回目となりました。現場の技術者を

対象とした技術研修で、日常の水質管理に役立つ検査項目について、座学、実習、グループディスカッションを行っています。知識、技術の習得はもちろんですが、参加者同士の交流を深めることも大きな目的です。今年度は12月21日に開催し、水質検査計画の作成につ

いて水道事業者等とともに学びました。

水みらいアカデミーは、当協会と業務提携をしている株式会社水みらい広島が主催する水道全般のセミナーです。テーマは、浄水処理、管路、電気、ポンプ、水質管理、広域化・官民連携、企業会計など多岐にわたっています。当協会は水質管理を担当しています。研修には、水道事業者だけではなく広く民間企業も参加し、県外からの参加者もいます。

今年度は11月16日に開催され、当会から「水中に潜む有害微生物」という演題で情報提供

安心・安全をテーマに

「食のセミナー」開催

今年度は数年ぶりの食品衛生法改正の年となり、多くの食品事業者の今後の事業活動に影響を与える年になったのではないのでしょうか。

特に「HACCPに沿った衛生管理の制度化」は、食品の国際化の進展といった我が国の食を取り巻く環境変化によるものと思われま

す。今年度も食品事業者、衛生行政の担当者、そして食の安心・安全に携わる方々を対象に「平成30年度食のセミナー」を開催します。今回は、食品事業者にお

平成30年度「食のセミナー」開催要領

日時：平成31年2月13日(水)

13:00～16:20

場所：(公財)広島県看護協会(広島市)

講演1「HACCP導入後における検証と微生物検査のあり方(案)」

講師 ROBY フードセーフティコンサルティング 柳 修一 氏

講演2「HACCPの制度化に向けた我が社の品質管理の取り組み(仮)」

講師 キューピー株式会社 品質保証本部 食品安全科学センター 次長 宮下 隆 氏

けるHACCP導入に向けた衛生管理の取り組みなどの講演を予定しています。講師の貴重な経験談など、参加

される方々の事業活動に役立つ内容です。年度末のお忙しい時期ですが奮ってご参加ください。

を行い、参加者から好評を得ました。

水道事業は、官民連携、広域化が推進され、広島県においても関係者が多様化しています。当協会も広島県の水道事業の一員として、また

水道の水質検査を行う専門機関として、このような研修を積極的に開催し、県内の水質管理の技術継承や人材育成に少しでも貢献したいと考えています。

(水道事業課)

健康クリニック 予防医学事業 中央会奨励賞



当協会・健康科学センターの浜田志穂臨床検査課課長補佐が、「職務に専念し、他の範となりさらに今後の活躍を期待しうる者」として(公社)予防医学事業中央会の「予防医学事業中央会奨励賞」を受賞しました。

地域の方々と天満川を清掃

軽トラ3杯分のごみを回収

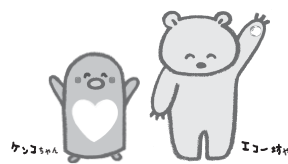


掃しました。河川内清掃は、胴長や長靴を履き、干潮時刻に合わせて河川内に入って作業しました。

当協会は、協会前の天満川を清掃する活動「環保協前天満川クリーン作戦」を、社会貢献活動の環として毎年1回実施しています。9回目となる今年度は、11月3日(土)に開催しました。

当日は、当協会の役員とその家族や近隣事業所及び地域の方々と92名が参加し、天満川にかかる横川新橋から中広大橋の遊歩道と河川内に分かれて清

平成30年度 地区衛生組織活動資金募集



通称

『環境・健康募金』

環境・健康募金は、昭和35(1960)年から実施し、平成30年度で59回目を迎えました。集まった募金は、募金委員会によって適正に配分され、各市町公衛協の活動資金として地域社会に役立てられています。

環境・健康募金
総額(円)

50,891,973



- 環保協に配分された募金は、以下のような事業に活用しています。
- 公衆衛生推進手帖の作成・配布
 - 公衆衛生推進委員養成に関わる各種研修の開催(夏季大学など)
 - 全県共通事業重点メニュー(1万人のエコチェック事業、公衛協発ウォーキング事業の提供グッズの作成など)
 - 広島県公衆衛生大会の開催
 - 環境と健康の学習ルームの運営

◆環境と健康の学習ルーム 貸出グッズ一例◆



サニークッカー



環境学習DVD

※この表は、平成30年11月末までに市町公衛協事務局から募金委員会に振込みのあった実績額を示しています。

市町名	募金額(円)	対前年実績比(%)
府中町	1,265,960	75.9
海田町	1,990,000	82.4
熊野町	1,429,288	99.1
坂町	351,500	95.0
江田島市	1,795,050	98.1
竹原市	1,650,800	99.9
大崎上島町	323,200	101.9
大竹市	2,434,316	96.5
廿日市市	3,114,539	91.7
廿日市市大野	2,560,002	102.2
廿日市市佐伯	0	0.0
廿日市市吉和	42,300	74.6
廿日市市宮島	189,400	98.1
安芸太田町	712,400	96.5

市町名	募金額(円)	対前年実績比(%)
北広島町	823,200	75.9
安芸高田市	1,325,200	64.3
東広島市	4,153,495	97.3
三原市	1,298,456	77.2
世羅町	700,600	81.5
尾道市	3,884,950	87.2
福山市	8,768,802	100.9
府中市	1,078,360	98.9
神石高原町	0	0
三次市	1,945,953	81.4
庄原市	1,667,200	68.6
呉市	7,325,691	96.5
その他	61,311	89.6
合計	50,891,973	90.0